

町制施行60周年記念

のびゆく日高町





町制施行 60 周年によせて

今年、日高町（旧内原村・旧志賀村・旧比井崎村の3村が昭和29年10月に合併）が誕生してから60周年の記念の年でございます。

この60周年という記念すべき節目の年を迎えられましたことは、町民みなさま方をはじめ町制発展のためご尽力くださいました関係各位のみなさまのご支援とご協力の賜であると深く敬意を表し、ここに60年にわたる町制の歩みを編集した次第でございます。

本町は、黒潮の影響を受けた温暖な気候と、紺碧の紀伊水道をのぞむ美しく変化に富んだ海岸線、そして紀伊山地に連なる緑輝く山々に包まれた、優れた自然環境・景観を誇るまちで前途洋々とスタートしました。

60年という長い道のりには、大型台風等による自然災害や経済不況など多くの試練や苦難もありましたが、肥沃な土地と紀伊水道の好漁場を生かし、先人の英知と町民のためみない努力により、古くから農業と水産業を基幹産業として発展してきました。

また、日高町誕生当時の人口は9,142名でございましたが、社会・経済情勢の変化に伴い年々人口が減少し、平成2年には6,862人と危機的な状況になりました。

最近では少子高齢化も急速に進んでおりますが、子育て支援の充実、住環境の整備などを積極的に推進してきた結果、平成22年には7,432人となり、和歌山県内のほとんどの自治体で人口が減少する中、一貫して増加傾向で推移しております。

また一方では、地域主権の時代の到来をはじめ、安全・安心の時代の到来、地球規模での環境保全の重要性の高まり、地方の産業・経済の低迷など、あらゆる分野で大きな転換期を迎えています。

本町では、美しい海岸線と緑の山々に包まれた優れた自然環境・景観との共生を基本に、環境保全を重視したまちづくりを推進するとともに、東南海・南海地震への備えをはじめとする危機管理体制の一層の強化を図り、快適で安全・安心な暮らしが実感できる、より質の高い住環境づくりを進めていく必要があると考えております。

60周年を契機に、より一層みなさま方と行政が一体となって魅力あふれる明るく住みよいまちづくりに全身全霊を捧げ、「笑顔で健康に暮らせるまちづくり」を目指してまいりますので、ご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、みなさま方のご健勝、ご多幸を祈念しご挨拶といたします。

平成26年10月
日高町長 松本 秀司



町制施行 60 周年にあたって

昭和29年に内原村、志賀村、比井崎村の3村が合併し日高町というきれいな海、山、野に囲まれたすばらしい町が誕生し、今日までの諸先輩方の並々ならぬご尽力のお陰で町制施行60周年を迎えることとなりました。

そのお陰をもちまして、今では県下で一番の人口増加を誇る町になり、それは現在も継続中であり、先人のご尽力の賜と心から敬意と感謝の意を表したいと存じます。

この節目に当たってまず私が感じることは、60年という歴史ある自然豊かなすばらしい日高町を後世に受け継いでいかなければならないのではないかと考えます。

それが現代我々に課せられた使命であると思うのであります。

そのためには、近く発生が予想されている南海トラフによる地震・津波の大災害から町民の方々をどのようにして守るのか、防災減災についていかに取り組むのか、議会と行政が一体となって取り組まなければならない最優先の課題ではないかと考えます。

また、これからの住民生活に大きく影響を及ぼすであろう地球規模での環境の変化に対応することが大切になってきたのではないかと思います。

最近のゲリラ豪雨や台風の発生時期等に見られるように過去には例のないような気候になってきているように思います。

これらに対応すべく対策には地方からも声を大にして国・県に働きかけていかねばならないのではないかと。

また、これらを努力することで、住みよい安心安全な日高町の実現に繋がるのではないかと思うのであります。

私たち議会といたしましてもより一層の研鑽を重ね住民の皆様の期待にお答えすべく努めて参る所存でありますので、今後ともご指導ご協力をよろしくお願い申し上げますとともに、町民の皆様のご健勝ご多幸と、日高町の輝かしい発展をご祈念申し上げ、議会を代表してのご挨拶といたします。

平成26年10月

日高町議会議員 野田 善啓

日高町の沿革

江戸時代には、現在の日高町域に独立した20ヶ村浦があった。明治17年、戸長役場の管轄区域が拡大され、この20ヶ村浦は、比井浦外7ヶ村浦(含三尾浦)、萩原村外6ヶ村(含丸山村)、和田浦外3ヶ村浦(含小池村)の各連合村と志賀村の4行政区に別れた。明治22年町村体制の実施にともない、新たに東内原村、西内原村、志賀村、比井崎村の4ヶ村が発足した。そのとき、三尾浦、丸山村は、他村に移り、小池村は志賀村に含まれることになり、また、これまでの村・浦はそれぞれ「大字」と呼称するようになった。

その後、昭和16年8月、東内原村、西内原村が合併して内原村となり、昭和28年9月1日、町村合併促進法が制定されるや、翌昭和29年10月1日、内原、志賀、比井崎の3村が合併し、「日高町」として発足。平成26年で60周年になります。

日高町の歩み

1954
昭和 29 年



町長職務執行者
上谷米次郎氏



町長
白井勇氏

- 10月 1日 内原、志賀、比井崎の3村が合併し、日高町として発足、初代町長職務執行者に内原村長、上谷米次郎氏が就任、旧内原村役場を本庁舎とし、志賀支所を旧志賀村役場に、比井崎支所を旧比井崎村役場にそれぞれ設置
- 日高町消防団発足
- 民生委員協議会発足
- 遺族会発足
- 10月 30日 初の町長選挙執行、白井勇氏就任、教育委員選挙(当選委員4名、議会選出委員1名)
- 11月 1日 日高町身体障害者福祉協議会発足
- 12月 4日 初代助役に、一松春氏就任
- 初代収入役に、竹谷佐吉氏就任
- 12月 10日 初代教育長に、本多勉氏就任

1955
昭和 30 年



第1回町長杯野球大会

- 2月 13日 初の町議会議員一般選挙執行(定数22名)
- 3月 内原、志賀、比井崎森林組合が合併し、日高町森林組合として発足
- 3月 31日 地盤変動事業で比井簡易水道竣工
- 4月 1日 役場庁舎増築、比井崎支所竣工
- 全町民に結核健康診断を始める
- 日高町婦人会発足
- 日高町青年団発足
- 日高町傷痍軍人会発足
- 環境衛生推進のため町内全世帯を対象に害虫駆除を実施
- 8月 14日 第1回町長杯野球大会開催(お盆の恒例行事となる)
- 10月 1日 国勢調査実施、人口8,779人、世帯数1,826戸
- 10月 日高町生活改善友の会発足

1956
昭和 31 年

- 3月 31日 原谷小学校校舎改築
- 4月 1日 第1回自主財政再建計画策定
- 乳幼児検診、妊産婦健康相談、母親教室開設
- 農繁期季節託児所開設
- 6月 30日 法改正により、教育委員の公選制が廃止され、首長が議会の承認を得て委員を任命し、教育長は委員の互選となる

1957
昭和 32 年

- 1月 21日 町立日高中学校を志賀地区に建築を決定、用地買収に着手
- 3月 31日 小浦海岸防潮堤完成(延長690m)
- 4月 1日 池田地区に町立内原保育所を新築、保育を開始

6月 30日
9月 30日

2月 26日

3月 20日

4月 1日

10月 1日

10月 30日



町立日高中学校

1958
昭和 33 年



町長 井上長次郎氏

2月 7日

1959
昭和 34 年

4月 1日

4月 16日

8月 10日

9月 1日

9月 26日

1960
昭和 35 年

3月

3月 31日

4月 1日



内原小学校統合校舎

5月 2日

7月 31日

9月

9月 22日

10月 1日

10月 31日

1961
昭和 36 年

1月

3月 31日

5月 1日

5月 16日

8月

9月 1日

9月 16日



第2室戸台風襲来

交通安全協会日高町分会発足
内原地区簡易水道事業竣工
小杭通学道路新設（延長2,170m 幅員3m）

町立日高中学校校舎竣工（円型鉄筋コンクリート造4階建 延べ2,353㎡）
内原、志賀、比井崎の3中学校を統合し、日高中学校を創設
地方改善施設整備事業に着手（以後、年次計画に基き、事業を実施）
日高町長選挙執行、井上長次郎氏当選
新町建設計画策定（昭和33年度～42年度）
町役場前に和歌山県日高北家畜保健衛生所開設
井上長次郎氏、町長に就任

町議会議員一般選挙執行（定数22名）
第1回自主財政再建完了
志賀および高家、小中簡易水道工事竣工
柏海岸護岸工事竣工（延長200m）
小中岩の谷改良工事竣工
日高町母子愛育会発足
国民年金制度ができる
元志賀中学校跡に和歌山県養鶏場が設置され、業務開始
志賀、比井崎支所を連絡所に改める
伊勢湾台風襲来

消防自動車購入、第3分団へ配置
日高中学校屋内運動場竣工（鉄骨造595㎡）
内原小学校統合校舎竣工（鉄筋コンクリート造2階建 延べ1,755㎡）
校舎新築により、内原小学校の本校と分校が統合
第2回自主財政再建計画策定
比井小学校校舎2教室増築
谷口簡易水道事業竣工
経営指導員を設置
志賀小学校講堂建築
国勢調査実施、人口8,177人、世帯数1,805戸
日高町商工会発足

農業経営の近代化を図るため、たばこや促成蔬菜、ビニールハウス栽培を取り入れる
原谷油河池改良工事竣工
小坂奥山池改良工事竣工
収入役、竹谷佐吉氏退任
収入役に崎則男氏就任
内原小学校通学道路、里神橋竣工
内原、志賀、比井崎農業共済組合が合併、同時に農業共済事業を町へ移譲
日高町社会福祉協議会発足
第2室戸台風襲来、災害救助法発令される
第2回自主財政再建完了
小浦船河池改良工事竣工
地盤変動対策事業で小池地区内川排水路を改修（日高町と美浜町とで共同実施、美浜町分は昭和38年度完成、総延長1,870m）

1962
昭和37年

4月 1日 日本脳炎、インフルエンザ予防対策を本格的に開始
比井及び産湯火葬場竣工
7月 スポーツ振興法に基づく体育指導委員を設置
10月 1日 町長、井上長次郎氏、無投票にて再選される（2期目）
10月 30日 津久野漁港防潮堤災害復旧工事竣工（延長333m）

1963
昭和38年



比井漁港防潮堤工事

2月 10日 町議会議員一般選挙執行（定数20名）
3月 31日 高家西久保橋、天満橋竣工
阿尾漁港修築事業第二次計画竣工（岸壁、護岸、埋立、船揚場、物揚場、防波堤、胸壁浚渫等を30年度より37年度まで各年度で実施）
比井漁港防潮堤災害復旧工事竣工（延長578m）
産湯漁港防潮堤災害復旧工事竣工（延長453m）
田杭漁港防波堤、防潮堤災害復旧工事竣工（延長、防波堤247m、防潮堤443m）
小杭海岸防潮堤災害復旧工事竣工（延長260m）
4月 1日 日高町老人クラブ連合会発足
老人の健康診査を始める
日高町善意銀行開設
公民館運営審議会委員設置
5月 3日 原谷小学校運動場整地工事完成
7月 31日 小浦簡易水道事業竣工
9月 10日 日高中学校技術家庭科教室建築（鉄骨造347㎡）

1964
昭和39年



国道42号線開通

3月 31日 日高町隣保館（文化会館）建築（鉄筋コンクリート造2階建 延べ223㎡）
阿尾簡易水道完成
比井漁港荷揚場完成
比井地区に防火水槽2ヶ所完成
3月 待望の国道42号線が開通（舗装完成、昭和40年1月）
5月 14日 御坊市外7ヶ町村環境衛生施設事務組合発足
6月 松くい虫駆除事業始まる
10月 31日 谷口簡易水道改良事業竣工
11月 20日 役場庁舎を現在地に新築落成（鉄筋コンクリート造2階建 延べ1,311㎡）
12月 2日 志賀、比井崎連絡所廃止
12月 10日 新庁舎落成式、町制施行10周年記念式典を新庁舎で行う
機構改革し、総務課、住民課、税務課、産業建設課、出納室を設置
12月 高家地区パイロット事業完成、集団早生温州みかんを植栽（面積16ha）

1965
昭和40年

1月 4日 原谷、内原、志賀、比井崎農業協同組合が合併し、日高町農業協同組合として発足
国道42号線、紀伊内原駅前に日高地方で最初の信号機設置
4月 1日 へき地保育所として、比井みのり保育所開設
日高町交通安全母の会発足
献血制度開設



第1回町内駅伝競走大会

- 5月 1日 日高郡10ヶ町村および御坊市老人福祉施設事務組合で特別養護老人ホーム改築（鉄筋コンクリート造に改築、定員50名）
- 5月 15日 近畿圏整備法都市開発区域指定
- 10月 1日 国勢調査実施、人口7,566人、世帯数1,792戸
- 11月 第1回町内駅伝競走大会開催

1966

昭和41年

- 3月 15日 阿尾簡易水道改良事業竣工
- 7月 1日 日高町土地改良区発足
- 8月 消防自動車購入、第2分団に配置
- 8月 11日 冬春きゅうり産地指定
- 10月 1日 町長、井上長次郎氏、無投票にて再選される（3期目）

1967

昭和42年

- 1月 31日 方杭防潮堤完成（延長260m）
- 2月 10日 町議会議員一般選挙執行（定数20名）
- 3月 31日 庁舎裏に水防倉庫、水防器材を整備
県道三尾由良線未改修道路完成（柏～方杭間、延長2,300m）
- 4月 1日 農山漁村同和对策事業に着手
- 6月 30日 日高中学校テニスコート完成
- 6月 萩原露谷池災害復旧工事竣工
高家五ッ谷池災害復旧工事竣工
- 10月 10日 御坊市外7ヶ町村環境衛生施設事務組合で、し尿処理施設完成
- 11月 1日 し尿処理業務開始
- 11月 沿岸漁業振興のため、魚礁造成投石事業に着手

1968

昭和43年



荊木～小池の鉢巻水路



産湯川の樋門



国道42号線の歩道橋

- 3月 町内平坦地域の荊木から小池に至る250haのかんがい用水の水不足解消のため鉢巻水路4,282mを完成（日高川より導水）
下志賀地区構造改善事業完成（農道整備と水稻、果樹、蔬菜等の経営規模拡大）
- 3月 31日 産湯川の樋門完成
荊木農免道路完成（県道井関御坊線交差点から御坊市上富安間1,800m 幅員5m）
可搬式動力ポンプを消防団各分団へ1台づつ配置
- 4月 1日 母子の保健指導のため、母子保健推進員を委嘱
雇用促進事業団、日高総合高等職業訓練校開校（敷地28,421㎡）
- 4月 農業用動力機具の普及により、昭和36年には446頭もあった役牛も、この年完全に姿を消す
- 7月 産湯海水浴場開設
海水浴客や釣客の激増により、各沿岸地区で民宿業始まる
- 7月 23日 国道42号線に横断歩道橋設置、内原小学校児童の交通安全を図る
- 8月 第1回町民親睦バレーボール大会開催
- 11月 30日 阿尾小学校校舎竣工（鉄筋コンクリート造2階建 延べ1,410㎡）

1969

昭和44年

- 2月 18日 御坊市外7ヶ町村広域青少年補導センター開設。
- 3月 31日 荊木地区簡易水道事業竣工。
阿尾漁港修築事業第三次計画竣工。（防波堤、岸壁、浚渫等を昭和38年度から43年度まで各年度に実施）



内原小学校プール

- 4月 1日
- 5月
- 8月 4日
- 8月 6日

1970

昭和45年



町長 一松春氏

- 2月 16日
- 2月 19日
- 3月
- 3月 31日
- 5月 20日
- 6月
- 7月 23日
- 8月 27日
- 9月 25日
- 10月 1日
- 10月 4日
- 10月 29日
- 10月 30日
- 12月

1971

昭和46年



日高町塵芥焼却場



国体の炬火リレー通過

- 2月 7日
- 3月 31日
- 4月 1日
- 4月
- 4月 30日
- 6月 11日
- 6月 30日
- 7月 1日
- 8月
- 10月 10日
- 10月 19日
- 12月 27日

広域市町村圏指定をうける
 養護老人ホームを鉄筋に改築（日高郡10ヶ
 町村、御坊市老人福祉施設事務組合 定員
 150名）

心配ごと相談所開設（月1回）
 老人家庭奉仕員1名を委嘱
 米の生産調整対策始まる
 萩原、牛内池災害復旧工事竣工
 内原小学校水泳プール完成（13m×25m
 6コース）
 冬レタス産地指定

教育長、本多勉氏退任
 宮本武雄氏、教育長に就任
 日高町観光協会設立
 西山開発協議会設置（日高町、美浜町）
 可搬式消防ポンプ3台を購入、各分団へ1
 台ずつ配置
 農業者年金制度できる
 小池大谷池災害復旧工事竣工
 社会教育委員委嘱
 日高町誌編さんに着手（委員25名委嘱）
 助役、一松春氏退任
 国勢調査実施、人口7,119人、世帯数1,794戸
 一松春氏、町長に無投票で当選される
 町長、井上長次郎氏退任（昭和33年10
 月より12年間、町政を担当）
 一松春氏、町長に就任
 日高町長期総合計画策定

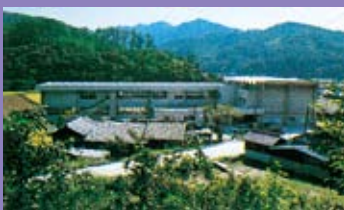
町議会議員一般選挙執行（定数20名）
 県道三尾由良線未改修道路完成（方杭～小
 浦峠間 延長1,100m）
 日高町同和対策長期計画策定
 町単独で、85才以上の老人に対し、敬老年
 金制度を設ける
 児童手当制度ができる
 機構改革により産業建設課を廃止し、産業課、
 建設課、水道課、企画室を設置
 日高町交通安全対策会議設置
 御坊周辺広域市町村圏事務組合設立
 小池地区に日高町塵芥焼却場完成（処理能
 力8t/日）
 煙樹海岸県立自然公園区域の変更指定を受け
 る（昭和29年7月6日指定）
 塵芥焼却の業務始まる
 第1回日高地方総合体育大会開催
 第1回子供野球大会開催（毎年恒例行事と
 して町長杯、議長杯、公民館長杯等盛大に行
 う）
 防火水槽完成（内原駅前地区、比井地区）
 第26回国民体育大会（黒潮国体）の大会旗、
 炬火リレー日高町通過
 田杭～池田間17.3kmを町民各層から
 182名参加、完走
 町、県で75才以上の老人に対し、高齢者医
 療給付制度を設ける



日高町中央公民館



壮年ソフトボール大会



比井小学校校舎

1972 昭和47年

- 2月19日 日高町中央公民館竣工（鉄筋コンクリート造2階建、延べ1,042㎡）
- 3月4日 日高町農業振興地域の指定を受ける
- 3月30日 原谷小学校廃校式典、校史発刊（明治7年7月1日開校）
- 3月31日 町道新平田線改良工事竣工（小坂～産湯間、延長654m 幅員5m）
田杭地区簡易水道事業竣工
- 4月1日 町独自の敬老年金の受給資格85才以上を80才以上に拡大する
内原小学校、原谷小学校が統合し、内原小学校として発足、通学用マイクロバスで児童の送迎開始
原谷へき地保育所（原谷小学校跡）開設
日高町同和委員会設置
山百合短歌会、日高町囲碁同好会発足（日本棋院中紀支部として発展する）
- 5月 第1号公民館結婚式を挙げる
萩原神田池災害復旧工事竣工
- 6月 比井、比井後池災害復旧工事竣工
小浦、方杭、比井、久志地区の地域振興計画に着手
- 8月 第1回町内小学校区ジュニアバレーボール大会開催
- 8月31日 内原小学校校舎3教室増築（鉄筋コンクリート造2階建 延べ312㎡）
- 9月 壮年ソフトボール大会開催
消防ポンプ自動車を購入、本部に配置
第1回県民総参加スポーツ大会開催
- 10月17日 交通安全協会、指導員13名を委嘱
- 12月 池田農免道路新設事業に着手（池田地区国道42号線取付～上志賀間、総延長3,010m 幅員5m）
- 12月2日 同和对策農業基盤整備事業に着手

1973 昭和48年

- 1月1日 70才以上の老人医療費支給について国で制度化される
- 1月 広域営農団地農道整備事業着手（萩原～印南間、総延長13,800m、幅員8m、日高町分2,200m）
- 3月26日 日高町文化財保護条例制定
- 3月31日 阿尾漁港修築事業第四次計画竣工（防波堤、護岸高上、浚渫、岸壁、埋立等を昭和44年度から実施）
上志賀地区急傾斜地帯農道整備事業竣工（昭和46年着工、延長1,260m、幅員5m）
- 4月1日 文化財保護審議会委員委嘱
ひとり暮らし老人に町独自で「愛のベル」設置する
日高町乳幼児医療費支給制度を設ける
比井地区に町営火葬場設置（祭壇、霊柩車を備える）
指導主事共同設置事務所を日高町中央公民館に置く
- 4月2日 和歌山県消防協会会長表彰旗を本町消防団に授与される
- 4月5日 日高局、比井局の電話がダイヤル式になる
- 4月15日 同和教育地区懇談会始まる
- 5月 小中堂の岡池災害復旧工事竣工



阿尾小学校校舎

- 8月 1日 阿尾漁港修築事業第五次計画に着工（埋立、岸壁、浚渫、防波堤、護岸高上、船揚場等、昭和52年度まで各年度にわたり実施）
- 8月 31日 比井小学校校舎竣工（鉄筋コンクリート造 2階建 延べ1,504㎡）
- 10月 1日 県、町で67才～69才の老人医療費無料化制度を設ける
- 10月 17日 阿尾小学校開校100周年記念式典（明治6年10月17日開校）
- 10月 24日 老人送迎用マイクロバス購入
- 11月 7日 宮本武雄氏、教育長を辞任
- 11月 8日 教育長に森澤円一氏就任

1974 昭和49年



老人憩の家「海の家」



町民体育大会開催

- 1月 19日 日高町農業振興整備計画の認可を受ける
- 3月 1日 日高町同和对策長期計画策定（後期5ヶ年）
- 4月 1日 新生児に出生記念品を贈る制度を設ける
交通遺児並びに母子家庭児童激励金を贈る制度を設ける
日高町老人憩いの家「海の家」完成（鉄筋コンクリート造 2階建 延べ306㎡）
日高町社会同和教育推進会発足
西川河川改修着手
県道三尾由良線改良着手（比井～小浦間）
農村総合整備モデル事業着手
- 4月 29日 可搬式消防ポンプ積載車2台購入、第2分団、第3分団に配置
- 7月 1日 機構改革により、同和室を設置
- 7月 10日 消防車庫新築（鉄筋造 63㎡、第2分団中志賀へ、第3分団比井へ建築）
- 10月 6日 町長、一松春氏、無投票で再選
- 11月 2日 比井小学校開校100周年記念式典（明治7年9月16日開校）
- 11月 3日 内原小学校開校100周年記念式典（明治7年8月24日開校）
- 11月 4日 志賀小学校開校100周年記念式典（明治7年10月23日開校）
- 11月 10日 町制施行20周年記念「町民体育大会」を日高中学校で開催
- 12月 27日 比井崎簡易水道事業の給水区域を小坂、小浦、津久野、産湯、阿尾、田杭地区に拡張し、変更、認可を受ける

1975 昭和50年



傾斜地崩壊対策

- 1月 1日 和歌山県日高北家畜保健衛生所、印南町へ移転
- 2月 2日 町議会議員一般選挙執行（定数20名）
- 3月 18日 日高簡易水道事業の給水区域を萩原、小中、高家、荊木、谷口、下志賀、中志賀、池田、原谷、小池、久志、上志賀地区に拡張、変更認可を受ける
- 3月 31日 池田上志賀線道路新設完成
比井崎簡易水道、小坂～阿尾間配水管布設（延長4,050m）完成
特殊急傾斜地崩壊対策事業完成（小浦地区、昭和48年着工）
- 4月 1日 婦人同和運動実践連絡会発足
第二次沿岸漁業構造改善事業指定
- 6月 関西電力(株)は小浦裏磯地区へ原子力発電所の建設の意向を示し、小浦区役員会へ検討協力を依頼



消防団本部庁舎



近畿野球大会で優勝

10月 1日
12月
12月 22日

1976 昭和51年



消防団本部庁舎

2月
2月 28日
3月
3月 18日
3月 31日

4月 1日
5月 28日
7月 3日
7月 9日
8月 19日

9月 24日
12月

1977 昭和52年



比井崎簡易水道

2月 1日
3月 20日
3月 31日

4月 1日
5月 14日
5月 15日
7月 13日

国勢調査実施、人口7,023人、世帯数1,855戸
 小浦郷土を良くする会が「原子力発電に関する研究推進」につき、町議会へ請願並びに町長に陳情
 関西電力(株)より小浦地区での原発事前調査申し入れを受ける
 町議会に「原子力発電調査研究特別委員会」設置



日高町誌発行

比井崎地区原発反対同志会は町長に原発問題白紙還元を求める

比井崎漁業協同組合臨時総会にて「誘致につながる調査は反対であるが組合員の意見を尊重しながら漁業者としての調査研究を進める」と決める

中学校生徒の通学費補助に関する条例改正。

津野清氏、助役に就任

消防団本部庁舎落成（鉄筋コンクリート造2階建、延べ234㎡、昭和50年9月着工）

比井崎簡易水道事業で、中志賀～小坂間885m、小坂地内209m、比井～小浦間1,308m配水管布設及び中志賀ポンプ所完了

比井漁港神田防波堤設置完了

阿尾漁港修築事業で北防波堤設置完了

西川、清水井橋完成（昭和49年着工）

交通指導員設置（10名）

重度心身障害児者医療費及び福祉手当支給条例施行

夏みかん更新対策事業実施（5ヶ年計画）

日高町体育協会発足

日高町文化協会発足

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

日高中学校が、第1回近畿中学生選抜野球大会で優勝

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

日高中学校が、第1回近畿中学生選抜野球大会で優勝

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

町議会「原発対策研究特別委員会」と改組

1978 昭和53年

小浦地区公民館

志賀小学校校舎

1979 昭和54年

西川大橋

- 10月 7日 萩原浄水場地鎮祭
- 11月 18日 和歌山県養鶏試験場が中津村へ移転
- 11月 20日 第1回日高町文化祭開催
- 12月 養護学校教育が義務化され、心身に障害をもつ児童生徒の就学について就学指導委員会設置
- 12月 10日 日高町誌発行、上巻1,158頁、下巻1,328頁（昭和45年着手）
- 12月 20日 内原小学校屋内体育館竣工（鉄骨鉄筋コンクリート造 630㎡）

- 1月 柏区民総会にて事前調査承認される
- 2月 15日 小浦区民総会にて事前調査承認される
- 3月 2日 比井崎漁協原子力発電特別委員会に事前調査説明会実施
- 3月 20日 小浦地区公民館竣工（鉄筋コンクリート造2階建 352㎡、昭和52年11月着工）
- 3月 31日 阿尾小、比井小グラウンドに照明施設設置
小中地内送水管820m布設
県道三尾由良線（比井～小浦間）公共事業により改良
- 4月 1日 母子家庭医療費支給条例施行
農業就業構造改善事業指定
水田利用対策事業による転作種子補助実施
- 5月 26日 日高町同和教育基本方針策定
- 5月 27日 日高町青少年補導連絡協議会発足
- 5月 29日 比井崎漁業協同組合総代会において条件付きで事前調査同意承認される
- 7月 3日 町議会にて、原子力発電に関する事前調査及び補償問題の促進を決議
- 8月 28日 志賀小学校校舎及び屋内運動場竣工（校舎鉄筋コンクリート造2階建 1,692㎡ 屋内運動場 鉄筋コンクリート造2階建 749㎡）
- 10月 1日 町長選挙執行、一松春氏、再選（3期目）
- 11月 13日 青少年健全育成地区懇談会始まる

- 2月 4日 町議会議員一般選挙執行（定数20名）
- 3月 12日 当初議会において「原発事前調査について陸上部分から実施する」と町長行政報告
- 3月 関西電力(株)より小浦地区における陸上部分の事前調査申請書提出される
- 地方改善事業、西川大橋完成（昭和53年10月着工）
- 池田、上志賀農免道路完成（昭和47年12月着工）
- 比井漁港（唐子）物揚場完成（延長26m）
- 産湯漁港防波堤工事完成（延長34m）
- 由良湾港柏地内物揚場改良工事完成（延長50m）
- 比井崎簡易水道、比井区内配管及び津久野区内配管完成
- モデル事業で、池田線850m、上志賀線1,800m、小池線1,169mの配水管、萩原観音寺に566m導水管布設、小中配水池1,000tPCタンク及び浄水場本体工事完成
- 4月 1日 日高町分課設置条例改正により、原発対策室設置
県道比井紀伊内原停車場線（中志賀地内）改良工事着工

1954 昭和29年 — 1965 昭和40年

1965 昭和40年 — 1973 昭和48年

1973 昭和48年 — 1979 昭和54年

1979 昭和54年 — 1986 昭和61年

1987 昭和62年 — 2000 平成12年

2001 平成13年 — 2008 平成20年

2009 平成21年 — 2014 平成26年



日高町浄水場

- 4月 2日 関西電力(株)より提出された事前調査関係申請書類を返還する
- 6月29日 町長行政報告で「安全第一に考える政府の安全見解が発表されれば事前調査を実施したい」と表明
- 7月 25日 日高町簡易水道事業給水条例及び施行規則を制定
- 8月 31日 町道観音寺線完成（7月着工）
比井小学校運動場整地工事完成
- 9月 1日 内原小学校便所棟完成（6月着工）
- 9月 4日 浄水場完成、通水式
日高地方広域農道整備事業日高町工区完成開通式
- 10月 3日 日高町基本構想策定

1980 昭和 55 年



比井保育所

- 1月 1日 比井保育所完成（鉄筋コンクリート造平屋建 504.2㎡、昭和54年5月着工）
志賀保育所完成（鉄筋コンクリート造平屋建 557.3㎡、昭和54年5月着工）
- 1月 8日 志賀保育所、比井保育所開園、保育園児はバスで送迎
- 1月 15日 第1回日高町産業祭開催
- 2月 1日 町同和委員会発行「明日への展望」第1号発刊
- 2月 小浦漁港船揚場完成（延長12m）
- 3月31日 モデル事業地区公園造成完成（980㎡）
県道藤井日高線荊木地区完成
町道高皿橋、からたけ橋改良工事完成
比井崎簡易水道事業産湯地区内配管及び中志賀ポンプ所、浄水場内テレメーター工事完成
日高町若もの広場竣工（総面積13,238㎡、昭和54年8月22日着工）
- 5月 21日 日高町武道館竣工（鉄筋、鉄骨造 714.1㎡、昭和54年8月22日着工）
- 7月 国道42号線歩道設置完成
- 7月 31日 「原子力発電所の安全性について」通産省資源エネルギー庁長官より通達文を受ける
- 10月 1日 国勢調査実施、人口6,973人、世帯数1,873戸
- 10月 3日 町議会において、「原子力発電事前調査促進に関する決議」可決。町長は凍結を解除する
- 10月 15日 御坊周辺広域市町村圏組合で、清掃センター完成のため町営小池ゴミ処理場閉鎖
- 11月 各海岸区へ原発事前調査概要説明及び協力要請
- 12月 小浦地区臨時総会にて陸上一部事前調査について承認
- 12月 16日 関西電力(株)より、原発事前調査関係申請書提出される



志賀保育所



若もの広場



武道館

1981 昭和 56 年



杉丸橋

- 1月 26日 和歌山県自然環境保全審議会において「調査許可は妥当」と決める
- 2月 9日 原発事前調査（一部陸上調査）開始
- 2月 28日 萩原集会所竣工（鉄筋コンクリート造2階建 198.9㎡、昭和55年8月着工）
- 3月 10日 地方改善事業で杉丸橋完成（延長25m 幅員5m、昭和54年11月24日着工）
- 3月 31日 日高簡易水道事業で、小池、下志賀、高家、萩原の各地区内配管完成



農村環境改善センター

- 4月 1日
- 7月
- 7月 14日
- 7月 31日



町民プール

- 9月 1日
- 10月 1日
- 12月 10日
- 12月 25日

1982 昭和 57 年



谷口隣保館

- 1月 1日
- 1月 30日
- 1月 31日
- 3月 31日



日高中学校校舎

- 4月 1日
- 5月 1日
- 6月 19日
- 8月 5日
- 8月 31日

- 9月 10日
- 10月 3日
- 11月 1日
- 12月 15日
- 12月 28日

1983 昭和 58 年

- 1月 19日
- 1月 30日

荊木国道配水管布設、原谷第1、第2加圧ポンプ所配水池完成
 比井崎簡易水道事業で、小坂地区内配管完成
 方杭地区1,065m配水管布設
 相きつ産地育成事業実施（5ヶ年計画）
 新農業構造改善事業指定
 県道比井紀伊内原停車場線歩道設置工事着工
 原発事前調査（一部陸上調査）完了
 冬キャベツ産地指定
 日高中学校用地造成工事完成
 日高町庁舎等構内整備工事完成（車庫、水防倉庫、倉庫、駐車場等、昭和55年8月着工）
 日高町農村環境改善センター竣工（鉄筋コンクリート造2階建 1,812㎡、昭和55年8月着工）
 日高町農村環境改善センター竣工式
 御坊市外7ヶ町村環境衛生施設事務組合及び青少年補導センターを廃止し、御坊周辺広域市町村圏組合事務組合に吸収合併
 地方改善事業で屋外運動場（町民プール）完成（昭和56年3月着工）
 原発対策特別委員会解散



戦没者記録「郷土の礎」



日高広域消防本部

1月31日 日高簡易水道事業で原谷地区水道管布設完成
 2月 1日 老人保健法が施行され、老人保健特別会計設置
 3月10日 社会教育実態調査実施（1,000名対象）
 3月31日 特殊急傾斜地崩壊対策事業（比井地区）完成
 中志賀、久志線、大江橋完成（延長8.5m）
 4月 1日 谷口住民公園開園（6,724.7㎡）
 日高町特定疾患医療受給者福祉手当支給開始
 人権モデル町として法務省より指定（指定期間1ヶ年）
 5月 1日 日高町戦没者記録集「郷土の礎」発刊
 7月22日 第1回老人ゲートボール大会開催
 8月20日 志賀小学校運動場整地工事完成
 10月 1日 日高広域消防事務組合業務開始
 10月 2日 教育長、森澤円一氏退任
 11月12日 原子力問題講演会（婦人を対象）開催
 原子力問題地区懇談会（各地区にて開催）
 11月15日 町道路台帳完成（昭和57年9月10日着手）
 12月23日 楠 忠氏、教育長に就任

青年同和運動実践連絡会発足
 原子力講座開催
 日高簡易水道事業で原谷線モデル事業、浄水場～原谷第1ポンプまでの配水管布設
 比井崎簡易水道事業で、方杭、小杭、柏線の配水管布設、地区内配管完成（昭和55年11月着工）
 地方改善事業で、谷口橋完成（延長21.7m 幅員5m、昭和56年9月着工）
 谷口隣保館（文化会館）竣工（鉄筋コンクリート造2階建 251㎡、昭和56年9月25日着工）
 同和対策特別措置法終了
 地域改善対策特別措置法施行
 地域改善対策5ヶ年計画策定
 小中住民公園開園（5,110㎡）
 町内全戸に給水開始
 日高郡10ヶ町村及び御坊市老人福祉施設、特別養護老人ホーム、ときわ寮、川辺園竣工
 第二次日高町長期総合計画策定
 テクノポリス開発構想調査策定対象地域指定
 日高中学校校舎竣工（鉄筋コンクリート造3階建 4,075㎡、昭和56年7月28日着工）
 小浦漁港改修工事着工
 町長選挙執行、一松春氏、再選（4期目）
 分課設置条例改正し、管財課を設置
 第3種生活路線（原奥線、上志賀線、小浦線）廃止
 日高広域消防事務組合設立
 西山ピクニック緑地及び遊歩道完成（昭和50年2月着工）
 町議会議員一般選挙執行（定数18名）



内原保育所



町の木あこう

町の花萩

2月 7日 助役、津野清氏逝去される
 3月12日 農林業地域改善対策事業、奥ノ谷池改修工事完成
 3月14日 御坊発電所公害防止協定書及び覚書締結（立合町となる）
 3月15日 内原保育所改築事業完成（鉄筋コンクリート造2階建 1,338.5㎡、昭和58年7月1日着工）
 3月20日 田杭集会所完成（鉄筋コンクリート造2階建 129.4㎡）
 4月 1日 比井小学校複式学級となる（5学級）
 6月26日 日高原発事前調査推進を決議
 7月 2日 日高町職員定年制条例を制定（施行 昭和60年3月31日）
 8月 2日 日高簡易水道事業（高家、小中地区）配水管布設替工事着工
 10月 1日 日高町制施行30周年
 10月 6日 崎山俊明氏、助役に就任
 指定金融機関設置を決議
 10月26日 日高町農業者年金協会発足
 町制施行30周年記念第10回町民運動会開催
 町制施行30周年記念第8回文化祭開催
 11月27日 町制施行30周年記念式典開催、町の木あこう、町の花萩制定



紀伊内原駅



小池集会所

3月14日 紀伊内原駅無人化にともなう業務委託開始
 8月 内原小学校運動場整地
 10月 1日 国勢調査実施、人口6,975人、世帯数1,969戸
 11月20日 役場機構改革、企画室、原発対策室を廃止、地域振興対策課設置
 3月31日 小池集会所竣工
 6月 第1回文化講演会開催
 8月22日 日高中学校軟式野球部、近畿大会で優勝、全国大会で準優勝を飾る
 10月 5日 町長選挙執行、一松春氏5選なる
 11月23日 第1回ゲートゴルフ大会開催

1987

昭和 62 年



久志集会所

- 2月 1日 町議会議員一般選挙執行、当選 16 名
- 3月 31日 久志集会所竣工
- 4月 日高町高齢者学級発足
- 6月 若者広場に夜間照明施設を設置
- 7月 1日 鳥居忠氏、収入役に就任
- JR天王寺駅に紀州日高町の観光PR板を設置
- 8月 和歌山県大型観光キャンペーンで、「くえ」・「黒竹」をPR
- 9月 旧日高中学校の円形校舎解体に伴い、コンクリート魂を中磯灯台沖 500 m に魚礁として投入
- 10月 1日 日高農業共済組合が発足（11ヶ市町村が広域合併）
- 11月 増養殖場造成改良工事完成（産湯・阿尾・田杭沖）
- 12月 15日 日高中学校技術教室棟竣工

1988

昭和 63 年



チャリティーバザー

- 2月 7日 第 1 回チャリティーバザー開催
- 4月 1日 町内初のスーパー A コープ日高店開業
- 9月 地域振興ビジョン「明日への架け橋」作成
- 11月 13日 熊野古道 IN 日高ふれ愛ハイイク開催

1989

平成元年（1月7日まで昭和 64 年）



日高中学校屋内運動場

- 1月 7日 昭和天皇崩御される
- 2月 25日 日高中学校屋内運動場竣工
- 3月 6日 中志賀構造改善センター竣工
- 4月 1日 住民票の発行を電算機により開始
- 9月 3日 1日あたり 305 mm の雨量を観測、各地で災害が発生
- 9月 5日 1時間あたり 60 mm の雨量を観測、各地で災害が発生
- 10月 22日 第 1 回全国「日高」サミット開催（埼玉県）
- 11月 21日 クエ供養碑建立

1990

平成 2 年



「いきいき日高」夏祭り



町長 志賀政憲氏

- 2月 14日 日高中学校屋外運動場竣工
- 3月 10日 小坂配水池増設工事完成
- 4月 1日 萩原住民公園開園
- 6月 30日 崎山俊明氏助役を退任
- 7月 9日 第 2、第 4 土曜日を閉庁に
- 8月 18日 第 1 回「いきいき日高」夏祭りを実施
- 比井小学校運動場整地工事完了
- 9月 30日 町長選挙執行、志賀政憲氏第 4 代目町長に
- 10月 1日 国勢調査実施、人口 6,862 人、世帯数 2,040 戸
- 10月 29日 町長、一松春氏町長退任（昭和 45 年 10 月より 20 年間、町政を担当）
- 12月 9日 第 1 回「ふれあいの日」開催

1991

平成 3 年



日高町社会福祉センター

- 2月 3日 町議会議員一般選挙執行、当選 16 名
- 2月 26日 産湯集会所竣工
- 3月 29日 日高町社会福祉センター竣工
- 4月 1日 役場機構改革、地域振興対策課を廃止、企画財政課、保健衛生課を設置
- 紀伊内原駅前に日高町営駐車場設置
- 6月 30日 鳥居忠氏、収入役退任
- 7月 1日 収入役に三岩禎次氏就任
- 7月 24日 役場庁舎増築改修工事竣工（各課に直通電話を設置）
- 9月 18日 生活排水処理基本計画策定

1992

平成 4 年



第4回全国ひだかサミット

- 12月 21日
- 12月 22日
- 1月 11日
- 3月 12日
- 3月 31日
- 5月 20日
- 7月 10日
- 10月 2日
- 11月
- 12月 25日

1993

平成 5 年



防災行政無線

- 1月 4日
- 2月 20日
- 3月 31日
- 4月 1日
- 4月 28日
- 9月 30日
- 10月 1日
- 11月 30日

1994

平成 6 年



御坊広域休日急患診療所



世界リゾート博市町村デーイベント

- 3月 22日
- 3月 31日
- 4月 1日
- 5月
- 7月 16日
- 9月 2日
- 10月 1日
- 10月 2日
- 10月 9日
- 10月 12日
- 11月 6日
- 11月 13日

1995

平成 7 年

- 1月 1日
- 2月 5日
- 4月 6日
- 5月
- 6月 30日
- 7月 1日
- 10月 1日
- 10月 16日

1996

平成 8 年

- 2月 8日
- 2月 26日
- 3月 29日

楠忠氏、教育長退任
教育長に谷口恒一氏就任

第1回「いきいき日高」ドライブシアター実施
第三次日高町長期総合計画策定
日高町商会館竣工
ゴルフ場計画断念
日高町人づくりまちづくり推進会設立
第4回全国ひだかサミット、日高町で開催
「日高いのち唄」制作
第1回老人福祉遠足実施（煙ヶ浜）
国土利用計画日高町計画策定

小中配水池増設工事完成
日高町文化財総集編冊子発行
防災行政無線竣工
役場機構改革により水道課を廃止、上下水道課を設置
地籍調査事業開始（地籍調査推進委員会発足）
公務員の週休二日制実施
「紀伊日高地区」国営農地再編パイロット事業地区別調査、日高町推進協議会設立
谷口恒一氏、教育長退任
教育長に貴虎律夫氏就任
比井崎漁協漁村センター竣工

露谷池導水管布設工事完成（水源の確保）
御坊広域休日急患診療所竣工
御坊クリーンセンター竣工
比井・阿尾小学校2校が統合、比井小学校として発足
阿尾小学校が休校となる
ミニライスセンター竣工
全国日高青少年交流会開催（北海道）
世界リゾート博が和歌山マリーナシティで開催される
世界リゾート博市町村デーイベントにて日高町をPR
町制施行40周年に日高町民憲章が制定
第1回くえマラソン開催
町長選挙執行、志賀政憲氏、再選（2期目）
小杭地区で温泉開発ボーリング調査に着手
町制施行40周年記念町民運動会開催
町制施行40周年記念文化講演会開催

中善夫氏、助役に就任
町議会議員一般選挙執行、当選16名
2歳児保育始める
歴史学習ビデオ『徳本上人』制作
三岩禎次氏、収入役を退任
楠司氏、収入役に就任
国勢調査実施、人口6,926人、世帯数2,182戸
備蓄倉庫竣工

熊野古道鹿ヶ瀬峠入口に公衆便所を設置
小杭での掘削が成功し「紀伊日高温泉」として認定される
比井駐在所竣工
保健福祉総合センター愛称「ふれあいセンター」竣工



保健福祉総合センター



熊野古道石畳道修復整備工事完了



御坊広域清掃センター



1999 平成11年

南紀熊野体験博
外国人指導助手
(ALT)



阿尾下水処理場

温泉館「海の里」みちしおの湯

3月30日 近畿自動車道湯浅御坊道路開通
4月 1日 教育相談電話開設
非核・平和の町宣言
6月 1日 指定ゴミ収集袋化実施
10月 1日 兵庫県日高町と災害時における相互応援協定締結

2月24日 日高町高齢者学級10周年記念誌発行
4月 1日 ゴミ収集形態変更（5種分別収集形態へ）
育苗センター竣工
7月 避難所「きしゅう君の家」設置
8月 1日 全国日高青少年交流会、日高町で実施
8月20日 高家集会所竣工
9月 熊野古道石畳道修復整備工事完了
10月 1日 由良町・日高町・美浜町の農協が合併し、グリーン日高農業協同組合となる
11月15日 第1回ふれあい祭開催

2月 2日 郵便番号が変更（5桁から7桁に）
3月31日 地域防災計画策定
農村基盤総合整備事業（高家地内）完了
5月28日 御坊広域清掃センター新施設稼働
6月 1日 選挙の投票時間が2時間延長され、午後8時までになる
8月31日 内原・志賀・比井小学校の耐震補強工事完成
10月11日 町長選挙執行、志賀政憲氏三選なる
11月15日 第1回日高町文化賞表彰
12月25日 全国日高災害時相互応援協定締結

2月 7日 町議会議員一般選挙執行、当選14名
3月 7日 第1回日高町スポーツ賞表彰
3月29日 地域振興券交付
4月 1日 印鑑登録証カード化スタート
行政改革大綱策定
4月28日 南紀熊野体験博開幕
7月26日 中学校教育における外国語指導助手（ALT）の導入
10月25日 戸籍事務コンピュータ化
日高町森林組合解散

2月25日 阿尾下水処理場竣工
3月17日 温泉館「海の里」みちしおの湯竣工
3月23日 少子化対策臨時特例交付金による志賀・比井保育所の保育室等改修工事完成
3月31日 県道井関御坊線新鹿ヶ瀬トンネル竣工
阿尾公衆便所竣工
4月 1日 役場機構改革、同和室を廃止、温泉館を設置
介護保険制度スタート
5月 1日 農村環境改善センター北側に駐車場用地造成
8月 1日 ライスセンター竣工
10月 1日 国勢調査実施、人口7,148人

2001 平成13年



比井下水処理場



弁財天山古墳

- 2月 17日 下志賀コミュニティセンター竣工
- 2月 26日 比井下水処理場竣工
- 4月 1日 家電リサイクル法により、家電4品目(テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン)がリサイクル商品となる
障害者計画策定
- 5月 10日 貴虎律夫氏、教育長退任
- 5月 11日 教育長に藤井宗二氏就任
- 6月 25日 第四次日高町長期総合計画策定
- 9月 7日 町道産湯小坂線竣工
- 9月 26日 第二次国土利用計画日高町計画策定
- 10月 9日 庁舎改築により農村環境改善センターへ仮移転
- 11月 26日 弁財天山古墳の発掘調査開始

2004 平成16年



比井小学校屋内運動場



小池下水処理場

- 2月 29日
- 3月 15日
- 5月 31日
- 6月 24日
- 10月 4日
- 10月 13日
- 10月 16日
- 11月 21日
- 12月 22日

2002 平成14年



日高町斎場



小浦下水処理場



町長 中善夫氏

- 1月 11日 弁財天山古墳の発掘調査終了
- 2月 17日 第1回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会開催
- 2月 28日 日高町斎場竣工
- 3月 20日 小浦下水処理場竣工
- 3月 31日 同和委員会・青年同和運動実践連絡会・婦人同和運動実践連絡会解散
- 4月 1日 完全学校週5日制実施
日高町エンゼルプラン策定
- 4月 4日 学校土曜日閉校に伴い、中央公民館を開放
- 6月 25日 中善夫氏助役を退任
- 7月 31日 全国日高青少年交流会本町で開催
- 9月 24日 新庁舎で業務開始
- 10月 1日 庁内LAN開始
町長選挙執行、中善夫氏5代目町長に
- 10月 6日 町長、志賀政憲氏町長退任(平成2年10月より12年間町政を担当)

2005 平成17年



萩原浄水場増改築



0歳児保育

- 1月 31日
- 2月 4日
- 3月 17日
- 3月 22日
- 3月
- 4月 1日
- 5月 10日
- 5月 11日
- 7月 1日
- 10月 1日
- 11月 1日

2003 平成15年



産湯公衆便所



日高町ホームページ

- 1月 1日 小宮正昭氏、助役に就任
- 2月 2日 町議会議員一般選挙執行、当選14名
- 3月 31日 阿尾小学校廃校
- 4月 1日 産湯公衆便所竣工
日高町ホームページ開設
- 7月 15日 美浜町・日高町・由良町任意合併協議会設置
- 8月 25日 住民基本台帳ネットワークシステム開始
- 10月 1日 日高町情報公開制度開始
- 12月 5日 美浜町・日高町・由良町合併協議会設置

2006 平成18年



高家駐在所



感謝状を受ける、田杭区長(手前)

- 3月 1日
- 3月 7日
- 3月 9日
- 3月 11日
- 3月 31日
- 4月 1日
- 9月 26日
- 10月 30日
- 12月 12日

比井小学校屋内運動場竣工
 柏コミュニティセンター竣工
 美浜町・日高町・由良町合併協議会解散（廃止）
 日高町・由良町合併協議会を設置
 外部委託方式による、小中学校の学校給食を開始
 特別養護老人ホームひだか博愛園みちしお竣工
 広川南インターが供用開始
 町制施行 50 周年記念講演会
 町制施行 50 周年記念誌「のびゆく日高町」全戸配布
 小池下水処理場竣工

2007 平成19年



産湯川水門



町長、デンマークを訪問

日高町・由良町合併協議会解散（廃止）
 萩原浄水場増改築工事竣工（膜濾過方式採用：簡易水道から上水道に）
 志賀保育所増改築工事竣工
 海岸筋に津波避難誘導灯及び海拔表示板を設置
 柏地区に人工海浜・柏ビーチ整備（延長300m、平成7年着工）
 0歳児保育を開始（志賀保育所）
 上水道企業会計へ移行
 藤井宗二氏、教育長退任
 教育長に、玉石守氏就任
 社会福祉法人太陽福祉会、社会就労センター、パン工房サンフルひだか竣工
 国勢調査実施、人口7,344人、世帯数2,480戸
 日高町行政改革大綱策定

- 1月 30日 日高町議会議員一般選挙告示、無投票当選11名
- 3月 26日 産湯川水門改修および遠隔操作設備設置工事竣工
- 4月 1日 役場機構改革
 総務課・企画財政課を総務政策課に統合
 住民福祉課・生活環境課を住民福祉課に統合
 産業課・建設課・管財課を産業建設課に統合
 教育総務課、社会教育課・公民館を教育課に統合
 地方自治法の改正、「助役」を「副町長」に変更
 子どもの、医療費助成制度の対象を小学3年生まで拡大
- 4月 6日 クヌッセン機関長遺徳顕彰促進協議会発足
- 5月 23日 田杭区に県知事表彰が贈られる（故クヌッセン機関長の遺徳の顕彰）
- 6月 30日 楠司氏、収入役を退任
- 7月 1日 地方自治法の改正、会計管理者を設置
- 8月 17日 デンマークへ訪問団を派遣（故ヨハネス・クヌッセン機関長の没後50周年記念）
- 8月 31日 農村環境改善センターの耐震改修工事竣工
- 9月 1日 学童保育所「日高町子どもクラブ」を開設
- 9月 20日 役場庁舎耐震改修工事竣工
- 12月 5日 南出川水門設置工事および遠隔操作設備設置工事竣工

2008 平成20年



高家下水処理場



高家住民公園

ケーブルテレビ開局（由良町、日高町、日高川町）
 庁舎議場アスベスト対策工事竣工
 高家駐在所竣工
 和歌山県多目的グラウンド竣工
 高家下志賀線竣工
 住民課を住民福祉課に機構改革
 日高町地域包括支援センターを設置
 ケーブルテレビ行政チャンネル運用開始
 町長中善夫氏、無投票で再選（2期目）
 中央公民館耐震補強、アスベスト対策工事、エレベータ設置等、改修工事竣工
 故クヌッセン機関長の遺徳を長年に渡り顕彰しているとして、外務省より、田杭区に感謝状が贈られる

- 1月 8日 日高中学校創立50周年記念式典実施
- 2月 5日 高家下水処理場竣工
- 2月 27日 高家住民公園竣工
- 3月 11日 役場玄関ロビーと中央公民館で、議会の生中継を開始
- 3月 28日 議会の一一般質問をケーブルテレビで初放送
- 3月 31日 比井川水門改修および遠隔操作設備設置工事竣工
- 4月 1日 後期高齢者医療制度開始
- 5月 2日 小中学校および、公共施設へAED15台を設置
- 5月 17日 公用車に青色回転灯を装備
- 5月 19日 3保育所、中央公民館、教育委員会に緊急地震速報端末を設置
- 5月 「広報ひだか」の発行を年3回から隔月発行に
- 7月 1日 日高町ホームページ全面リニューアル
- 9月 12日 3小学校、中学校、役場庁舎、温泉館、保健福祉総合センターに、緊急地震速報端末を設置

2009 平成21年

導入した
スクールバス

クエのテーマ
ソングを歌う
アコースティック
ユニット「Q-U-E」

- 3月 31日 日高町地域防災計画改定
- 4月 1日 GIS（地理情報システム）運用開始
- 4月 20日 比井保育所園児・小学校児童ら送迎用に、環境にやさしいスクールバスを導入
- 7月 13日 クエのテーマソング「クエクエ boogie-woogie」「九絵のパラード」発表
- 9月 27日 萩原集会所耐震工事竣工

2010 平成22年



谷口交差点

- 1月 29日 日高町が全国町村会で「優良町村」として表彰される
内原、志賀、比井保育所に太陽光パネル設置
- 3月 31日 浄化槽市町村整備推進事業及び、農業集落排水事業が完了
孤立集落対策防災行政無線機を、町内 10 か所に設置
- 4月 1日 子どもの、医療費助成制度の対象を、中学 3 年生まで拡大
- 5月 「広報ひだか」を毎月発行に
- 10月 1日 国勢調査実施、人口7,432人、世帯数2,648戸
- 10月 3日 町長中善夫氏、無投票で再選（3 期目）
- 12月 谷口交差点改良と信号機設置、谷口橋竣工

2011 平成23年



ひだか博愛園みちしお

- 1月 20日 防災行政無線操作卓をデジアナ併用に更新
- 1月 30日 日高町議会議員一般選挙執行、当選 11 名
- 3月 4日 町内全域地籍調査が完了（平成 5 年より実施）
- 3月 11日 東北地方太平洋沖地震発生、日高町震度 1、津波高 1m
- 3月 24日 特別養護老人ホームひだか博愛園みちしお増床工事竣工
- 3月 25日 全国瞬時警報システム（J-ALERT）を導入
- 4月 1日 役場機構改革、住民福祉課から分課して、健康推進課を設置
60 歳以上の方の優待割引を開始（温泉館「海の里」みちしおの湯）
御坊市外三ヶ町国民健康保険事務組合解散により国民健康保険業務開始
高齢者外出支援試行事業開始
- 4月 28日 農林水産省より、バイオマスタウンとして公表
- 5月 東北地方太平洋沖地震により被災した岩手県へ、役場職員 7 名を派遣
- 9月 21日 第三次日高町国土利用計画策定
- 9月 台風 12 号により、日高川町を始め県南部に甚大な被害が発生し、復旧支援として、職員 23 名を日高川町に派遣
- 12月 21日 第五次日高町長期総合計画策定
- 12月 31日 玉石守氏、教育長辞任



第五次日高町長期総合計画

2012 平成24年



新しい救命艇保管庫と田杭区の方々



津波避難訓練の様子(比井小)



- 1月 1日
- 2月 14日
- 2月 29日
- 3月 5日
- 4月 1日
- 7月 21日
- 11月 14日
- 12月 20日

2013 平成25年



内原王子公衆便所



高齢者外出支援事業助成券

- 2月 8日
- 2月 22日
- 3月 26日
- 3月 31日
- 4月 1日
- 4月 30日
- 5月 11日
- 6月 18日
- 7月 1日
- 10月 31日

2014 平成26年



産湯海水浴場「海の家」



- 1月 31日
- 3月 6日
- 3月 27日
- 3月 28日
- 3月 31日

教育長に、玉井幸吉氏就任
 故クヌッセン機関長の救命艇保管庫竣工
 小浦川水門設置および遠隔操作設備設置工事竣工
 内原保育所駐車場完成
 阿尾地区において、急傾斜地崩壊対策事業及び、避難広場整備事業に着手
 県道比井紀伊内原停車場線竣工（比井地区）
 内陸の小中学校に防災頭巾、比井小学校にライフジャケットを配布
 比井保育所にライフジャケットを配布



町長 松本秀司氏



改修した便所棟(内原小)

5月 6日 日高町長選挙及び日高町議会議員補欠選挙告示、日高町議会議員補欠選挙で無投票当選 2名
 5月 11日 日高町長選挙執行、松本秀司氏 6 代目町長に
 7月 19日 紀の国わかやま国体のリハーサル大会を開催（5日間）
 7月 28日 日高町シルバー人材センター設立

災害時要援護者支援事業により、町内 10 地区にリヤカー配備
 日高中学校に空調設備設置
 災害対策本部の代替施設である日高中学校に、防災相互通信用無線機を設置
 内原王子公衆便所竣工
 小杭、方杭、田杭地区に衛星携帯電話を配備
 各種税金と上下水道料金のコンビニ収納開始
 高齢者外出支援試行事業を、本事業化
 漁村再生交付金事業による、比井地区の大規模避難路整備に着手
 紀の国わかやま国体日高町実行委員会設立
 教育長に玉井幸吉氏、再任（2 期目）
 防災行政無線のデジタル化工事に着手
 日高町子育て支援センター開設（保健福祉総合センター内）
 内原、志賀、比井各小学校に空調設備設置



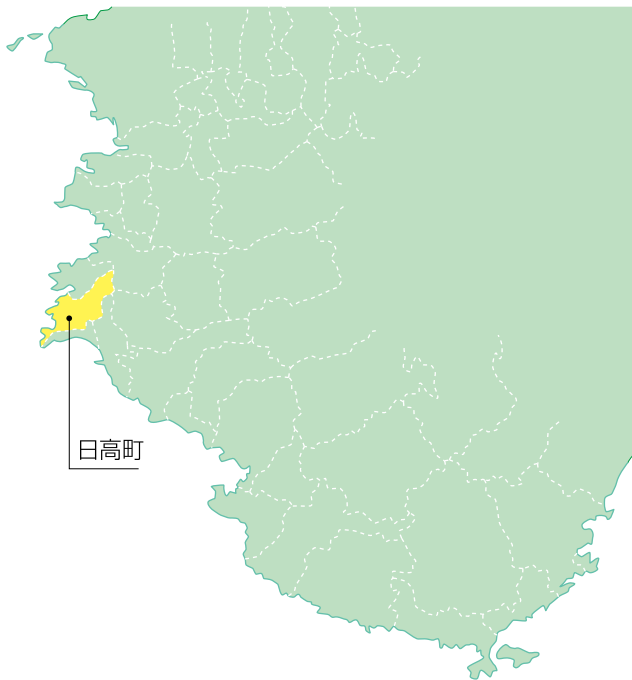
産湯海水浴場「海の家」竣工
 小浦公民館耐震補強及び外壁改修工事竣工（公共施設の耐震改修事業完了）
 町長、中善夫氏逝去される（平成 14 年 10 月より 11 年 6 か月間町政を担当）
 南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域に指定される
 日高町立内原小学校校舎改修工事竣工（便所棟を 2 階建てに改修、校舎の補修工事等）
 日高町地域防災計画改定
 津波ハザードマップを更新（南海トラフ巨大地震を想定）
 志賀地区土砂災害ハザードマップを作成
 総合防災マップを更新



位置と面積

日高町は紀伊半島西端に位置する日ノ御崎を基点に北東に向かって開けた、総面積46.42平方キロメートルの町である。これを地形的に見れば日ノ御崎より由良湾に至るリアス式海岸と、西川(全長14キロメートル)の上・中流、支流志賀川の流域及び日高平野の北部を占める。しかし全面積の3分の2は山地となっており、耕作は水田、畑作を合わせても7.32平方キロメートルではない。

| | |
|-------|--|
| 北端 | 北緯33度58分51秒、原谷小城山頂 (隣接地:日高郡由良町及び有田郡広川町) |
| 南端 | 北緯33度52分36秒、日ノ御崎鏡岩西方 (隣接地:紀伊水道) |
| 東端 | 東経135度10分47秒、小城山南方尾根 (隣接地:有田郡広川町) |
| 西端 | 東経135度3分28秒、日ノ御崎大倉礁西端 (隣接地:紀伊水道) |
| 役場所在地 | 東経135度8分37秒、北緯33度55分20秒 |



気象

平成16年から平成25年までの10年間の気象状況を見ると、最高気温は36.6℃(平成25年8月)、最低気温は-3.5℃(平成21年1月)、年平均気温は16.4℃で降水量年平均は1,616mmとなっている。

平成25年度中の状況では、最高気温は8月11日の36.6℃、最低気温は1月5日・2月10日の-2.3℃、年平均気温は16.3℃、年間降水量は1,635mm、年平均風速は3.1m/secとなっている。

降雪はあるが積雪を見ることはほとんどない。

以上のように、温暖で四季を通じてしのぎよい気候に恵まれている。

人口と世帯数 (昭和29年～平成26年)

(数字は3月31日付)

| 年 | 人口 | 世帯数 | 年 | 人口 | 世帯数 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 昭和29年 | 9,142 | 1,870 | 昭和60年 | 7,192 | 2,014 |
| 昭和30年 | 9,157 | 1,834 | 昭和61年 | 7,233 | 2,023 |
| 昭和31年 | 9,225 | 1,812 | 昭和62年 | 7,207 | 2,023 |
| 昭和32年 | 9,116 | 1,815 | 昭和63年 | 7,219 | 2,033 |
| 昭和33年 | 8,937 | 1,829 | 平成元年 | 7,226 | 2,043 |
| 昭和34年 | 9,009 | 1,861 | 平成2年 | 7,197 | 2,064 |
| 昭和35年 | 8,709 | 1,864 | 平成3年 | 7,201 | 2,066 |
| 昭和36年 | 8,583 | 1,863 | 平成4年 | 7,166 | 2,082 |
| 昭和37年 | 8,505 | 1,865 | 平成5年 | 7,216 | 2,098 |
| 昭和38年 | 8,377 | 1,846 | 平成6年 | 7,221 | 2,128 |
| 昭和39年 | 8,353 | 1,861 | 平成7年 | 7,279 | 2,168 |
| 昭和40年 | 8,218 | 1,858 | 平成8年 | 7,280 | 2,197 |
| 昭和41年 | 8,054 | 1,832 | 平成9年 | 7,274 | 2,198 |
| 昭和42年 | 7,918 | 1,840 | 平成10年 | 7,349 | 2,242 |
| 昭和43年 | 7,837 | 1,830 | 平成11年 | 7,400 | 2,297 |
| 昭和44年 | 7,801 | 1,839 | 平成12年 | 7,462 | 2,323 |
| 昭和45年 | 7,724 | 1,862 | 平成13年 | 7,543 | 2,379 |
| 昭和46年 | 7,691 | 1,870 | 平成14年 | 7,488 | 2,411 |
| 昭和47年 | 7,557 | 1,866 | 平成15年 | 7,506 | 2,443 |
| 昭和48年 | 7,535 | 1,862 | 平成16年 | 7,596 | 2,509 |
| 昭和49年 | 7,520 | 1,881 | 平成17年 | 7,660 | 2,585 |
| 昭和50年 | 7,464 | 1,890 | 平成18年 | 7,718 | 2,627 |
| 昭和51年 | 7,421 | 1,907 | 平成19年 | 7,759 | 2,686 |
| 昭和52年 | 7,464 | 1,900 | 平成20年 | 7,813 | 2,709 |
| 昭和53年 | 7,362 | 1,873 | 平成21年 | 7,789 | 2,763 |
| 昭和54年 | 7,380 | 1,876 | 平成22年 | 7,786 | 2,807 |
| 昭和55年 | 7,348 | 1,904 | 平成23年 | 7,815 | 2,853 |
| 昭和56年 | 7,341 | 1,938 | 平成24年 | 7,809 | 2,910 |
| 昭和57年 | 7,233 | 1,976 | 平成25年 | 7,859 | 2,953 |
| 昭和58年 | 7,249 | 1,986 | 平成26年 | 7,880 | 3,017 |
| 昭和59年 | 7,221 | 1,997 | | | |

広報ひだか アーカイブス

平成16年～平成26年発行の
「広報ひだか」より、数冊ずつ
ピックアップしてご紹介します

平成16年



平成17年



平成18年



平成19年



平成20年



平成21年



平成22年



平成23年



平成24年



平成25年



平成26年

